

“冬”

の船舶事故に注意！

～家族・仲間の願いは無事の帰港です～



安全運航のために

- ・ 常時適切な見張りの徹底

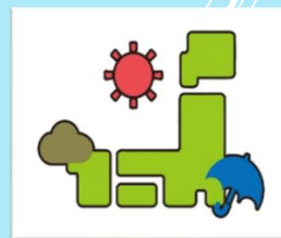
停泊中であっても**周囲の見張り**をしっかりと！

- ・ 気象・海象情報の入手

荒天が予想される場合は**出港見合わせ**を！

- ・ 航行海域の調査

海苔網が設置されている場所もあるので確認を！



JAPAN COAST GUARD

発行：鳥羽海上保安部

海の「事件・事故」は

118番

海の安全情報スマートフォン用サイト →
(こちらから登録して下さい)



海の安全情報

Maritime Information and Communication System



万が一に備えて

自分を救う3つの準備

救命胴衣の常時着用

- ・救命胴衣は必ず着用しましょう！
船橋内でも着用しておけば安心！
- ・脱げないように正しく着用しましょう。
- ・固形式はトラブル低減！

蛇腹式は軽くて動きやすい！確実に浮く！

- ・膨張式はボンベの点検を！

装着状態をしっかりと点検し、定期的な交換を！



固形式救命胴衣



防水パック

連絡手段の確保

- ・携帯電話は出港前に満充電に！
- ・携帯電話を船橋に置いていませんか？
防水パックに入れ首掛けストラップがおすすめ！
- ・家族や友人と安心を共有しましょう。

位置情報の共有！ 定時連絡！ 帰宅時間の連絡 等

海の「事件・事故」は118番

- ・海上保安庁緊急通報用ダイヤルです。

冬場の海では1分1秒が生死を分かちます！



ライト

好事例

令和6年4月夜間、大王埼沖を航行中のヨットから乗組員が海中転落したが、船長により事故発生後、**すぐに**118番通報され、**ライト付き救命胴衣**を着用していたことで、海保ヘリに発見され、事故発生から**3時間後**に無事救助された。



ライト装着例

万が一に備えた安全意識を
皆で考え合いながら高めていきましょう。